

## 総務企画分科会

【所管事項】

- ・市の基本計画
- ・財政
- ・税
- ・防災
- ・消防
- ・広報



## 環境福祉分科会

【所管事項】

- ・お年寄り
- ・障がい者
- ・保健衛生
- ・保育園
- ・子育て
- ・交通安全
- ・病院
- ・ごみ
- ・環境



## 建設水道分科会

【所管事項】

- ・都市計画
- ・道路
- ・河川
- ・住宅
- ・公園
- ・上下水道

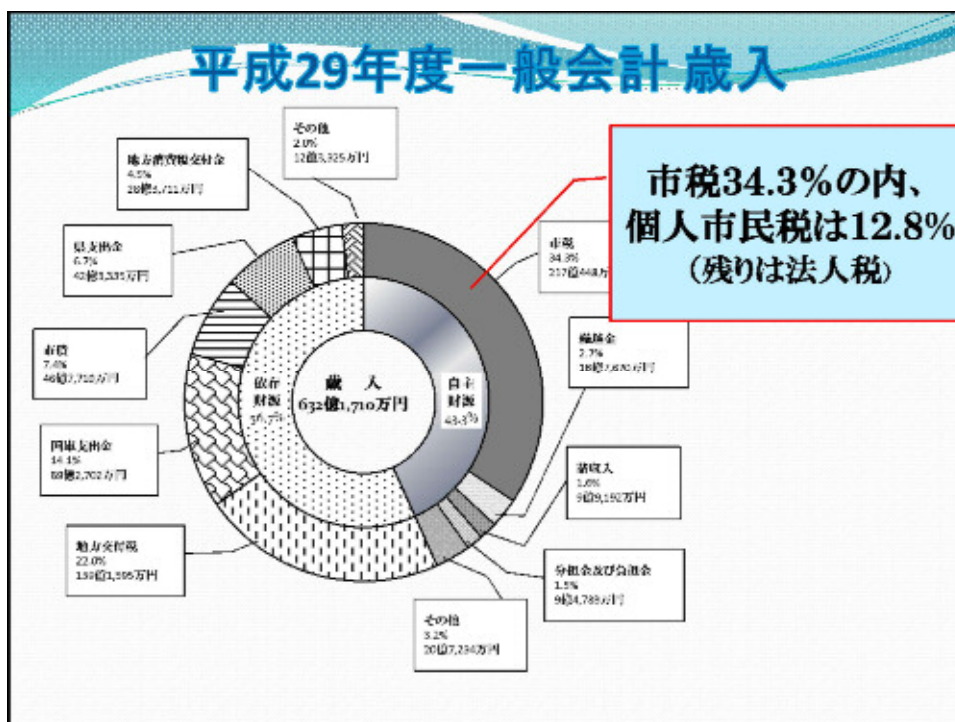


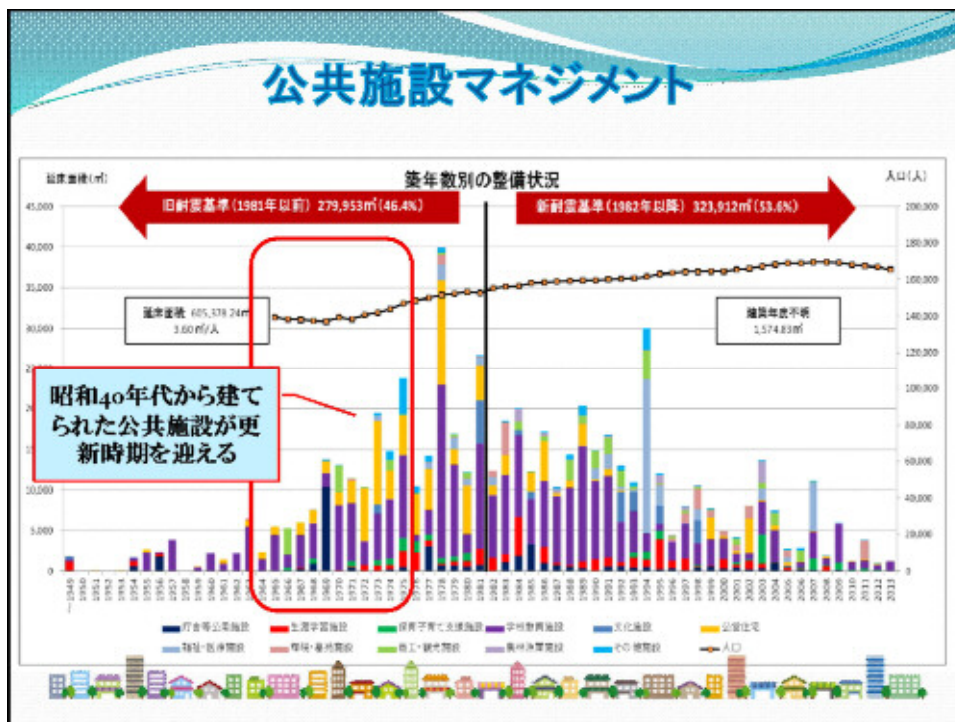
## 文教経済分科会

【所管事項】

- ・農林水産
- ・商工業
- ・文化
- ・スポーツ
- ・教育
- ・学校







### 公共施設マネジメント

期 間	削減目標
平成28年度～平成37年度	延べ床面積の20%削減
平成38年度～平成47年度	延べ床面積の28%削減
平成48年度～平成57年度	延べ床面積の35%削減
平成58年度～平成67年度	延べ床面積の40%削減

**平成29年度末時点で、  
削減率は0.86%**

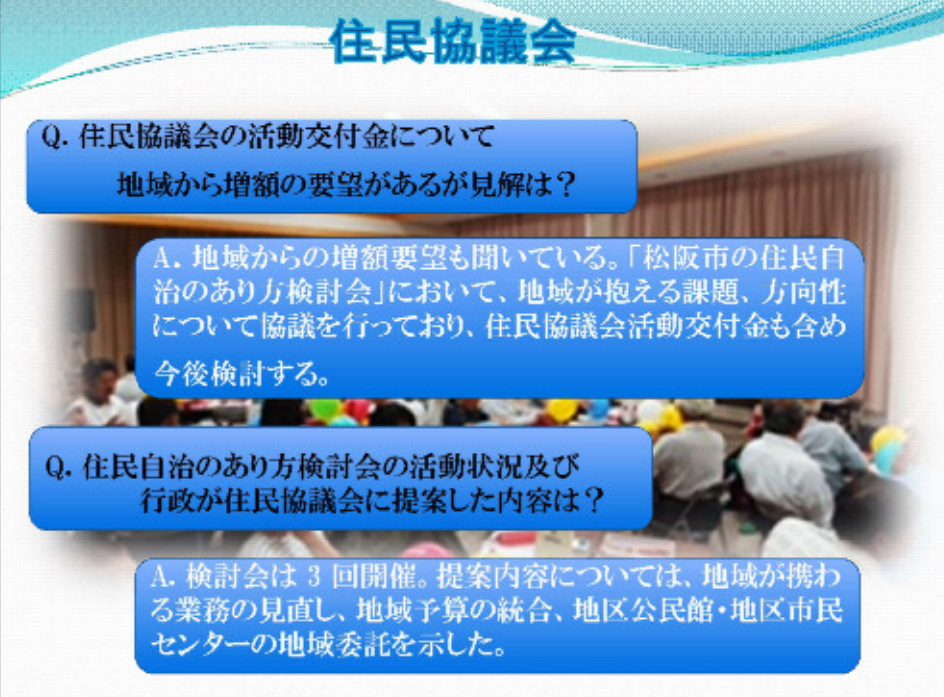
## 住民協議会

**Q. 住民協議会の活動交付金について  
地域から増額の要望があるが見解は？**

**A. 地域からの増額要望も聞いている。「松阪市の住民自治のあり方検討会」において、地域が抱える課題、方向性について協議を行っており、住民協議会活動交付金も含め今後検討する。**

**Q. 住民自治のあり方検討会の活動状況及び  
行政が住民協議会に提案した内容は？**

**A. 検討会は3回開催。提案内容については、地域が携わる業務の見直し、地域予算の統合、地区公民館・地区市民センターの地域委託を示した。**



## 環境福祉分科会



### 地域自殺対策強化事業

効果の検討は？

目標数がゼロでなく26人

取り組みの本気度が見えてこない

市民の命を守る心意気を

議員間において

「自殺の原因に対して対策が十分に図られていない」

「12課それぞれが前面に出ても良いのでは」

「すべての課に対策を練ってもらう必要がある」

「自殺対策の窓口をつくることも検討する必要がある」

### 生活困窮者自立相談支援事業等

継続相談が40%増加したのは、問題が解決しなかったのか？

単発的な問題だけでなく、長期的継続的な関わりが必要な人がたくさんいる状況

児童虐待相談件数が53件にも上っているが市の対策は？

健康センター「はるる」満足度90.6%

13年間職員の採用が無かったことで園長になれる人材不足。幼稚園長に退職した小中学校の校長経験者が増えているが問題は？



### 塵芥収集事業

1口当たりのごみ排出量

松阪市	904g
小金井市	623g

全国で最も少ない

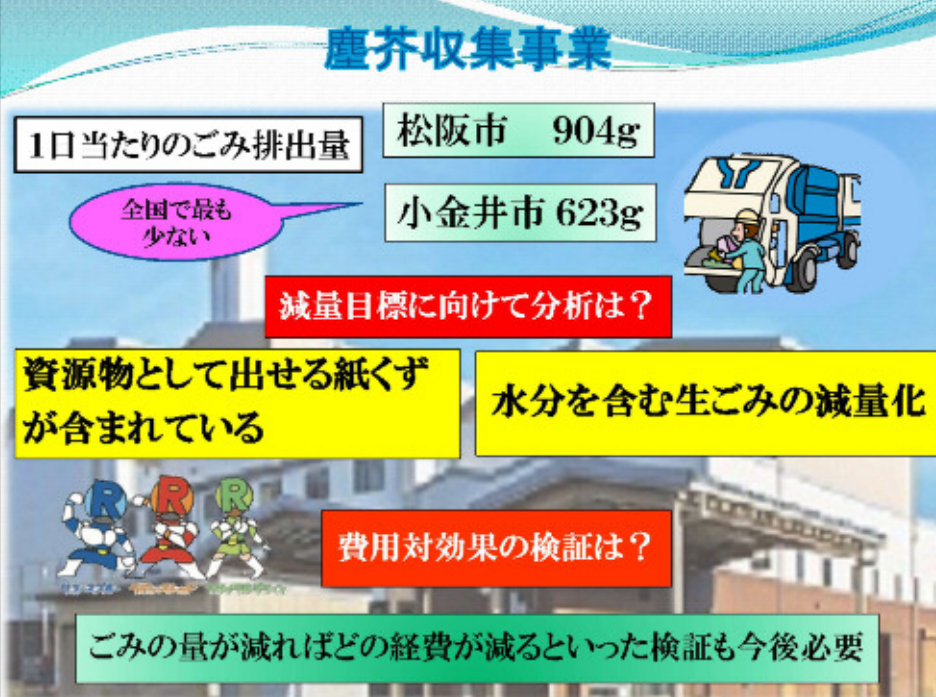
減量目標に向けて分析は？

資源物として出せる紙くずが含まれている

水分を含む生ごみの減量化

費用対効果の検証は？

ごみの量が減ればどの経費が減るといった検証も今後必要



### 松阪市民病院事業会計繰出金（1,400万円）

三重県の医療構想の中で市民病院の役割を考えるための経費

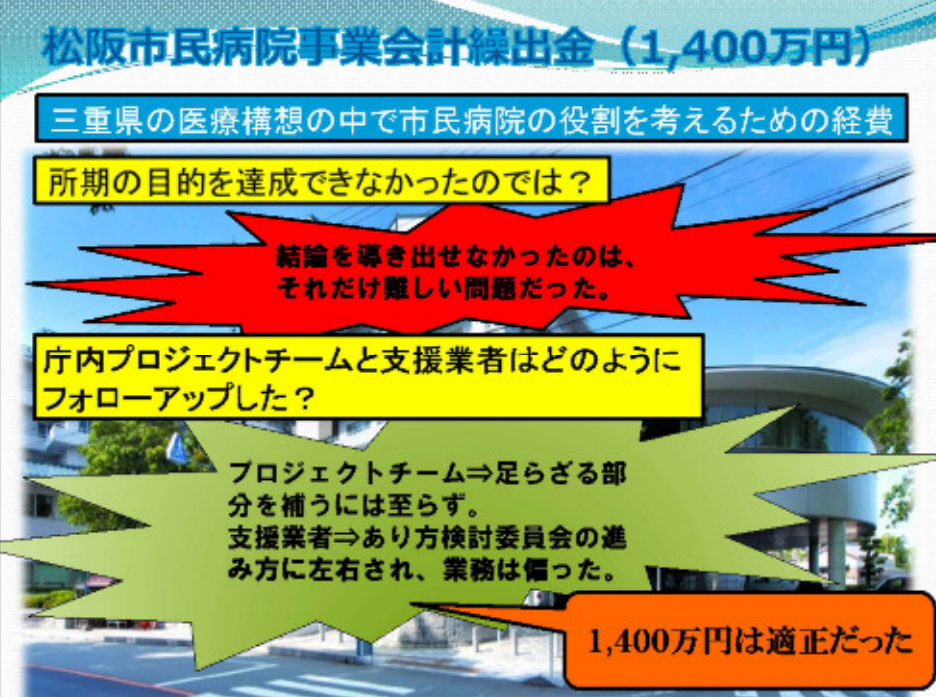
所期の目的を達成できなかったのでは？

結論を導き出せなかったのは、それだけ難しい問題だった。

庁内プロジェクトチームと支援業者はどのようにフォローアップした？

プロジェクトチーム⇒足らざる部分を補うには至らず。  
支援業者⇒あり方検討委員会の進み方に左右され、業務は滞った。

1,400万円は適正だった





### 松阪多気バイパス開通

**Q・国道42号松阪多気バイパス整備促進期成同盟会会費の内容と効果は？**

↓

**A・H30年3月18日の開通を記念して行った記念イベント経費**

↓

2,000人の来場者で大いににぎわい、大成功

松阪多気バイパス  
全線開通記念イベント  
日時:平成30年3月4日(日) 11:00 ~ 15:00

**Q・松阪多気バイパスの効果は？**

↓

調査結果

↓

**A・バイパス交通量 12時間に1000台  
増加国道42号線12時間で500台減少**

2018.3.18  
全面開通

松阪多気バイパス整備により現状機能が強化される

交通が国道42号に集中

松阪多気B.P. 国道42号、松阪第二環状線へ交通が分散

効果

渋滞緩和

### 要望・実施件数

**Q・地元要望修繕等件数と実施件数の割合と要望傾向**

**A・要望 604件**      **実施 370件**      **61%**

**要望傾向**

**A・経年劣化による路面のくぼみの修繕や道路の舗装  
高齢化による水路の清掃および除草作業に対する要望が多い。**

**意見・除草作業はイタチごっこになるので、工事段階で構造物の隙間から草が出ないように丁寧な施工をして、無駄な財源を使わないような取り組みを!!**

### 浸水・雨水対策

**Q・浸水対策事業費の実績と効果は？**

**A. 駅部田・久保町・上川町の3地区の排水路整備27年度より着手、流下してくる雨水を浸水地域の上流側で分散させるバイパス水路整備を完成させた。**

**29年度 完成**

**効果**

30年度に3回の台風が襲来し30ミリを超える降雨量があったが、浸水は確認されておらず、一定の効果があった

**Q・総合雨水対策10か年戦略事業費のH29年度の実績は？**

**A・6か所で事業を行った。**

- ①垣身排水路 既存側溝改修を30メートル
- ②新松ヶ島排水路 既存水路の断面拡幅改修 68メートル
- ③小高団地 雨水流出解析業務
- ④塚本長泉寺線の既存水路の実態調査
- ⑤三渡川上流域の未改修区間の改修の立案業務
- ⑥波留、下滝野排水路の排水能力の検証、計画断面を決定

県との「松阪地区浸水対策検討会」の検討会2回、作業部会5回実施

## スケートパーク

**Q・スケートパーク整備の実績と設計の特徴は？**

**実績** A. 愛好家と委託先のコンサルタントが、施設の模型を作成したり、日本スケートボード協会と市とは2回、協会とコンサルタントとは10回程度の協議をもち、指導を受け、基本設計と実施設計を行った。

**設計の特徴** 競技エリア、ローカルエリア、プールエリアの3エリアを設け、初心者から競技者まで幅広い層が利用できるようなコース設定とした。

**意見**・2020年東京オリンピックの種目となり、非常に興味も高まっているので施設整備には細心の注意を払い、全国に自慢できる施設にしてほしい！




## 上水道施設

**Q・水道施設の耐震化の進捗状況は？**

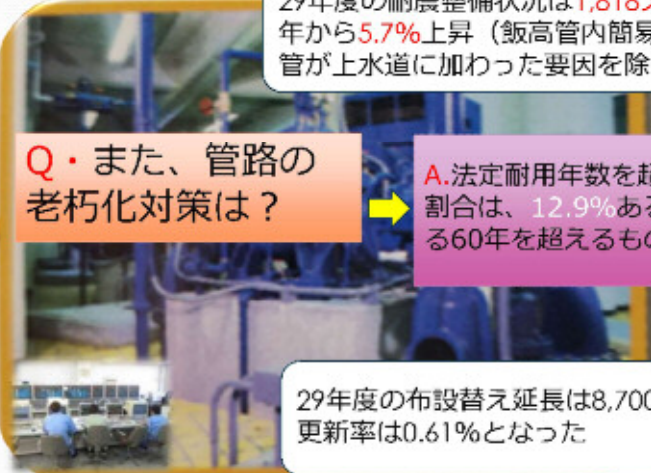
A. 基幹的な管路総延長83.5 km、うち耐震適合は29.3 kmで割合は35.1%となる。

29年度の耐震整備状況は1,818メートルの整備をし28年から5.7%上昇（飯高管内簡易水道の耐震化された管が上水道に加わった要因を除くと1.3%である）

**Q・また、管路の老朽化対策は？**

A. 法定耐用年数を超過している水道本管の割合は、12.9%あるが、耐用年数と考える60年を超えるものはほとんどない。

29年度の布設替え延長は8,700メートルで、管路更新率は0.61%となった



## 文教経済分科会



## 放課後児童クラブ

Q：次年度の人数を把握するための  
実態調査はどのように  
行っているか？

A：11月に実施の就学前児童の  
健康診断と、2月の一入学時に  
調査、把握している。



入所希望が早く合意できるよう更なる  
早期の段階での調査をお願いしたい。

## 新たな学びの創造事業

Q：新たな学びの創造事業の  
情報化検討委員会の報告内容は。

A:ICT機器を活用することで子どもと学びをつなげる、子どもと教師をつなげる、子どもと子どもをつなげる、子どもと保護者をつなげる子どもと世界・地域をつなげるという報告であった。

Q：ICT機器導入により教師の負担は軽減したのか。

A:ICT支援要員を配置することで、教師の負担の軽減に努めている。

紙の削減、時間の削減の検証をぜひ行ってほしい。

## 外国人児童生徒いきいきサポート事業

Q：生活言語の  
習得以外の支援策は？

A：より早く学校生活になれるよう、まずは生活言語の取得が優先される。

教科の力をつけるため板書の書き方を工夫。  
わかりやすい言葉で表現する。

### いじめ等対策事業

Q：アンケート調査の結果


A：学期ごとに1回アンケートを実施することでいじめの早期発見につながっている。

Q：学級満足度尺度調査の結果と評価

A：全国平均39%に対し、当市は66.2%であった。結果に満足せず取り組みを継続していく。

Q：不登校が増えている要因

A：家庭に関わる要因の割合が大きく占め、中学校では友人関係の問題、学業の不振などがある。




### 児童生徒安全対策支援事業

Q：学校によって配布物が異なる理由は？

A：新市合併後の協議会の中でPTAと協議しいずれかを選択した。

現在

ヘルメット	17校
黄色安全帽	19校





### 文教経済分科会長報告への質疑

「連合三重松阪多気地域協議会に対する補助金について分科会員の意見はどのような内容だったのか」

「今後の見直しを踏まえた、執行部の前向きな答弁を受け、認定となった」

「補助金の長期化、既得権化という問題が生じている。公益性、公平性、公正性において著しく不適正な支出である」

「今後、十分精査して適正な補助金の運営に努めていきたいと方向性を示されたのでしたとする」



### 決算の認定に賛成か反対かの討論

賛成か、  
反対か

**認定**

「長年にわたり放置されてきた補助金のあり方を問い反対する」

「特定の団体への補助金交付を前提とした交付要綱になっていて不適切というよりほかない」などとして反対

「今後、見直しも含め考えるとの執行部の見解もあり了とする。予算執行に関しては適切だった」

### 決算調査特別委員長報告

平成30年9月第4回定例会「...」

後で見る 共有

議案第96号 平成29年度松阪市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定についてのうち、・総務企画分科会所管の事項、・環境福祉分科会所管の事項、・建設水道分科会所管の事項について、採決の結果、挙手全員、認定すべきものと決定。  
・文教経済分科会所管の事項について、採決の結果、挙手多数、認定すべきものと決定いたしました。

討論

平成30年9月第4回定例会「...

反対

後で見る 共有



労働者福祉推進事業費補助金制定以来28年見直しもなく、既得権化し、特定の団体に向けての補助金となっている。


補助金制度そのものが不適切であることから本決算には反対するとの討論。

討論

平成30年9月第4回定例会「...

賛成

後で...




子育て一番の実現を図り、新しい一歩を踏み出す予算として執行された。総合計画の7政策についても着実に推進している。

労働者福祉推進事業費補助金の執行については、交付要綱により執行、適正な交付と考えるが、今後はより適正な補助金運営に努めていく考えを示されている。財政運営の取り組みの結果の財政指標にも健全性があらわれており、今決算は評価すべきものとする。

**討 論**

**反対**

平成30年9月第4回定例会「...」  
後で見ると共有



マイナンバー制度への疑問とその推進に対し反対を表明する。

「財政の硬直化」は、過去の話であるという注目すべき答弁。財政運営の特徴と受けとめる。

国民健康保険会計の県下一本化が進められ、松阪市での国保税の25年ぶり引き下げの結論にふれられていなかった決算と指摘し、本決算には反対するとの討論。

**討 論**

**賛成**

平成30年9月第4回定例会「...」  
後で見ると共有



29年度の財政について、健全な効率のよい財政運営がされており認定する。

労働者福祉推進事業費補助金についても、執行部として前向きに検討されること、また支給要綱にそったものであり適切な予算執行と認定する。

はるる設立、マームでの公民館開設、産業支援センター、林業センター運営、防災計画の見直しと啓蒙は非常に重大であったことから、賛成するとの討論がありました。



## 危険ブロック塀等除去事業補助金(1,000万円)

**Q. 危険ブロック塀等除去事業補助金の中身は？**

**A. 避難道路に係る通行人の安全を目的に、公衆用道路に面するブロック塀や子どもたちの安全の観点から学校の敷地に隣接しているブロック塀も対象としている。**

**平成30年11月中旬受付開始～平成33年12月末まで**

対象ブロック塀の高さ:	1.2メートル以上
補助率:	5,000円/㎡
内容:	<ul style="list-style-type: none"> <li>■津波避難道路狭あい地域(狐師町・町平尾町) 上限15万円/件(30件分)</li> <li>■その他の地域 上限10万円/件(55件分)</li> </ul>

## 行政チャンネル アイウェーヴ



The image shows a young woman with short dark hair, wearing a dark blue sailor-style school uniform with a white bow at the neck. She is sitting at a desk with a blue and white striped cloth. In the background, there is a green chalkboard. In the top left corner of the video frame, there is a small inset image showing a council meeting in progress, with several people seated around a large table.



平成30年度市長・教育長と語る会 意見のまとめから…

Q: コミュニティスクールとは具体的にどのようなものか。

A: 学校が変わる。学校の課題を地域と一緒に協力して解決していく。鎌田中学校が新しくなるが、地域と協力して作った。

Q: 子どもが登下校している道路で、車で通っても怖いと思うところがある。

A: 歩道は確かにないかもしれない。道も狭い。民家の影響もあると思う。両サイド家が建っているので、線の引き方をはっきりさせているところもある。

平成30年度市長・教育長と語る会 意見のまとめから…

Q: 学童保育の会計や運営などについて

A: 平成29年から会計を税理士等にまかせるシステムを構築した。事業所運営は難しい。法人委託は7施設、会計のみ委託しているところは15施設ある。

Q: 横断歩道が消えていたりする。走りやすい道なので、車やバイクもスピードを結構だしている。

A: つい最近もバイク事故で亡くなった方がいた。消えかかっているところも結構あるので調べている。

平成30年度市長・教育長と語る会 意見のまとめから…

**Q: 地区水泳の中止の判断を市が一定の基準を示してほしい。**

A: 水温が高いと熱中症の可能性がある。地区水泳の運営は地域になる。基準を市が定める必要性も感じる。ぜひ、検討する。

**Q: 体育館のトイレ、外用には扉がついていない。外のドアもつけてほしい。男女を分けてほしい。**

A: 各学校の状況を調べている。現在実施している設計の中と来年度の事業で考えてみます。構造上の問題など確認します。

**ご意見をお聞かせください。**

松阪市議会



## 第 1 1 回議会報告会



ご清聴ありがとうございました。

松阪市議会